

市内の高校・支援学校の取り組みを紹介

地域と共に歩む

高校・支援学校 vol.22

松橋高校

小川工業高校

松橋支援学校

松橋西支援学校

松橋東支援学校

第53回 松橋支援学校運動会



5月18日に運動会を行いました。当日は雨のため、小学部・中学部・高等部普通科は本校体育館、高等部専門学科・普通科氷川分教室は氷川分教室体育館での開催となりました。今年度は、東京オリンピックやラグビー

などの世界大会にちなんだ競技もあり、児童生徒たちがスポーツに関心を持てるような内容でした。最後は両会場で「東京五輪音頭」を踊り、本校では1つの大きな円を、氷川分教室体育館ではきれいな五輪の円を作り、締めくくりました。

運動会を通して、オリンピックやスポーツの世界大会などに興味を持つ良い機会となりました。

全国高校総体「南部九州総体2019」記念品作り

今年7・8月、熊本県を含む南九州4県を会場に全国高等学校総合体育大会が開催されます。県内の特別支援学校14校は、県実行委員会から来熊する選手らに贈る記念品の製作依頼を受け、本校では県産の杉を使った写真立てを500個作りました。1月から高等部専門学科工芸科の授業で製材から組み立て、磨き、塗装などを行いました。

高等部全体でも高校総体への参加意識を共有するため、普通科と氷川分教室の生徒は塗装作業、生徒会は中に入れるカードの製作に参加。5月末に完成しました。製作した生徒たちは「総体の思い出の写真を入れてほしい」と選手たちに届くことを楽しみにしています。



宇城市立図書館の活用



本校では、年に3回、300冊ずつの本を中央図書館よりお借りしています。借りた本は図書室に並べ、児童生徒や職員が活用しています。本校には置いていない幅広いジャンルの本をたくさん借りることがで

き、2週間ごとにやって来る移動図書館「うきうき号」とともに、楽しみにしています。

普段から、調べ学習用の本やおはなし会のための大型絵本・紙芝居を借りるなど、市立図書館をフル活用していて、本校の教育活動にとって、なくてはならない存在です。今後も大いに活用していきたいと思っています。

各校の行事予定	7/1 ~ 8/10
◆ 7月2日(火) 期末考査 [松橋高]	
◆ 3日(水) プール招待行事 [松橋東支援]	
◆ 5日(金) ロードクリーン [松橋西支援]	
◆ 8日(月) 高等部学校説明会 [松橋西支援]	
◆ 12日(金) 期末考査(高等部普通科) [松橋支援]	
◆ 9日(火) 2学年インターシッパ [松橋高]	
◆ 10日(水) オープンスクール(専門学科) [松橋支援]	
◆ 12日(金) 薬物乱用防止教室 [小川工高]	
◆ オープンスクール [小・中・高等部普通科] [松橋支援]	
◆ 18日(木) クラスマッチ [松橋高・小川工高]	
◆ 作業製品販売会 in イオンモール宇城(専門学科3年) [松橋支援]	
◆ 19日(金) 1学期終業式 [松橋高・小川工・松橋東支援・松橋西支援]	
◆ 23日(火) 1学期終業式・寄宿舎夏まつり [松橋支援]	
◆ 26日(金) 小川工業高校体験入学 [小川工高]	
◆ 31日(水) 中学生体験入学 [松橋高]	
◆ 宇城地区特別支援教育指導力向上研修 [会場 ラポート、小川工高]	
◆ 8月9日(金) 登校日(平和教育) [松橋高]	

読んでみたい

論語

その51



市内小・中学校では、「論語」を学ぶ取り組みを行っています。

「論語」は、古代中国の思想家、孔子の教えを弟子たちが書き記したもので、人としての生きる道や考え方、道徳が示されています。

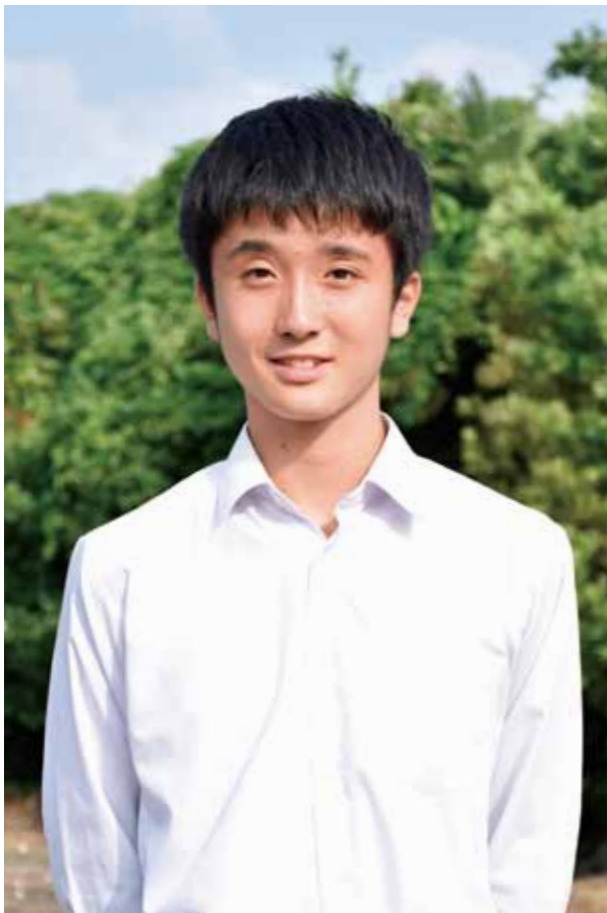
このコーナーでは、教訓として活用している事例などを紹介します。

今月の紹介者



豊野中学校3年

木村 航平 さん



子曰はく、
「知者は惑わず。仁者は憂えず。
勇者は懼れず。」と。

先生は言われた、
「正しい知識を備えている人は、判断に迷わない。正しい行いを心がけている人は、心配することがない。勇気のある人は懼れない。」と。

論語は、意味の難しいものもありますが、これは、短くて覚えやすく、理解しやすい文章だと思います。

「だ」と思います。

僕がこの論語を選んだ理由は、自分の課題が「積極性」にあるからです。僕は今年、中学校3年生となり、学校を引っ張っていかなければならぬ立場となりました。しかし、様々な場面で、みんなに声をかけたり、自分から動いたりするような積極的な行動がまだとれていません。なぜなのか、その理由を考えてみると、一番大きな原因は、「行動する前に失敗したときのことを考えてしまうた

「周りがどう思うだろうか」「うまくいかなかったらどうしよう」などと、行動を起こす前に考えてしまう弱い気持ちがありました。しかし、3年生となった以上、その不安を乗り越えていくことが大切だと思っています。

これからは、取り組む前から失敗を懼れることなく、自分がやりたいと思ったことに迷わず挑戦していきたいです。この論語は、そういう自分にとって教訓となるものです。